

本日のテーマ「森鷗外と近代文学の作家たち」

実施日：2023年5月28日

1 「山椒大夫・高瀬舟」 1915(T4)年・1916(T5)年

森鷗外／作 2002年 岩波書店 【SNモ】

子どもの頃テレビでみたアニメ「母と厨子王」が、ものすごく記憶に残っています。
鷗外が小説化したものを、アニメ化したものだったようです。

高瀬舟は、読書感想文のために読んだものでしたが、鷗外が医者でもあった
ことをふまえて読むと、もっとまともな感想文が書けていたかなーと思います。

2 「雁」※ 1911(M44)年

森鷗外／著 2008年 新潮社 【SNモ】

せっかくのチャンス(?)と、サバのみそ煮と雁にじゃまして、
お玉が気の毒なおな、何ごともなくて良かったような...
翌日別れる結果であっても、やはり告白できた方が
よかったですかね...



3 「類」

朝井まかて／著 2020年 集英社 【Nア】

“類”って何だろう... と思って手に取ったら、鷗外の末子の名前でした。
行方不明だった“小倉日記”が発見された時のドタバタぶりが興味
深い。親が有名人だと、子どもたちはたいへんなんですね。

4 「友情」 1920(T9)年

武者小路実篤／著 2003年 新潮社 【SN△】

「お目出たき人」 1911(M44)年

武者小路実篤／著 2000年 新潮社 【SN△】

「友情・愛と死」 1939(S14)年

武者小路実篤／著 1988年 角川書店 【SN△】

→ 読み終わった後に、自分が杉子だったなら、野島と大宮どちらを選ぶか、
友人と盛り上がりました。

「唯一無二の親友と同じ人を好きになってしまったら、どうするか？」

青春小説の永遠の命題だと思います。

出版から100年経っても色あせない、何度読んでも楽しい名作です。

5 「“文学少女”と死にたがりの道化^{ピエロ}」

野村美月／著 2006年 エンターブレイン 【YSNノ】

「人間失格」「嵐ヶ丘」「友情」などなど...
名作をベースにした学園ミステリー。
本を食べちゃうくらい愛している遠子先輩と一糸者に
名作の世界へどーぞ!!



6 「文豪ストレイドッグス」シリーズ

朝霧カフカ／著 2014年～ KADOKAWA 【YSNア】

文豪たちをキャラクター化した、異能アクションモノです。
近代文学の作品や、作家たちのエピソードを知っていると、
ニヤッとなります。



7 「文豪たちの友情」

石井千湖／著 2018年 立東舎 【Y910イ】

「文豪たちの口説き本」

彩図社文芸部／編 2020年 彩図社 【910ブ】

→ 「自他ともに認める親友」「天逝した文豪と友人たち」
「ケンカするほど仲が良い二人」の三章からなる、様々な
友情の形!! 文豪ってクセが強い人が多くて、面白いです。



8 「こころ」※ 1914(T3)年

夏目漱石／著 2004年 新潮社 【SNナ】

いったい“先生”は何をやったのか...
教科書に載っていた続きが、気になって、図書館に読み
行った本です。

9 「破戒」※ 1906(M39)年

島崎藤村／著 2005年 新潮社 【SNシ】

同和問題を当事者の目線で見てとらえて、とても有意味な
時間でした。ストーリーも何度も読み返したくなるようです。



10 「朗読喫茶 嘶の籠／あらすじで聴く文学全集 1～6」

2021年 Hanashi RECORD 【JG2ロウ】

人気の声優さんたちによる朗読CDです。いい声で聴けます。
カウンターにて保管しているので、聴きたい方は職員におたずね下さい。
※は、投稿や読書会カフェで参加された方に紹介していただいた本です。